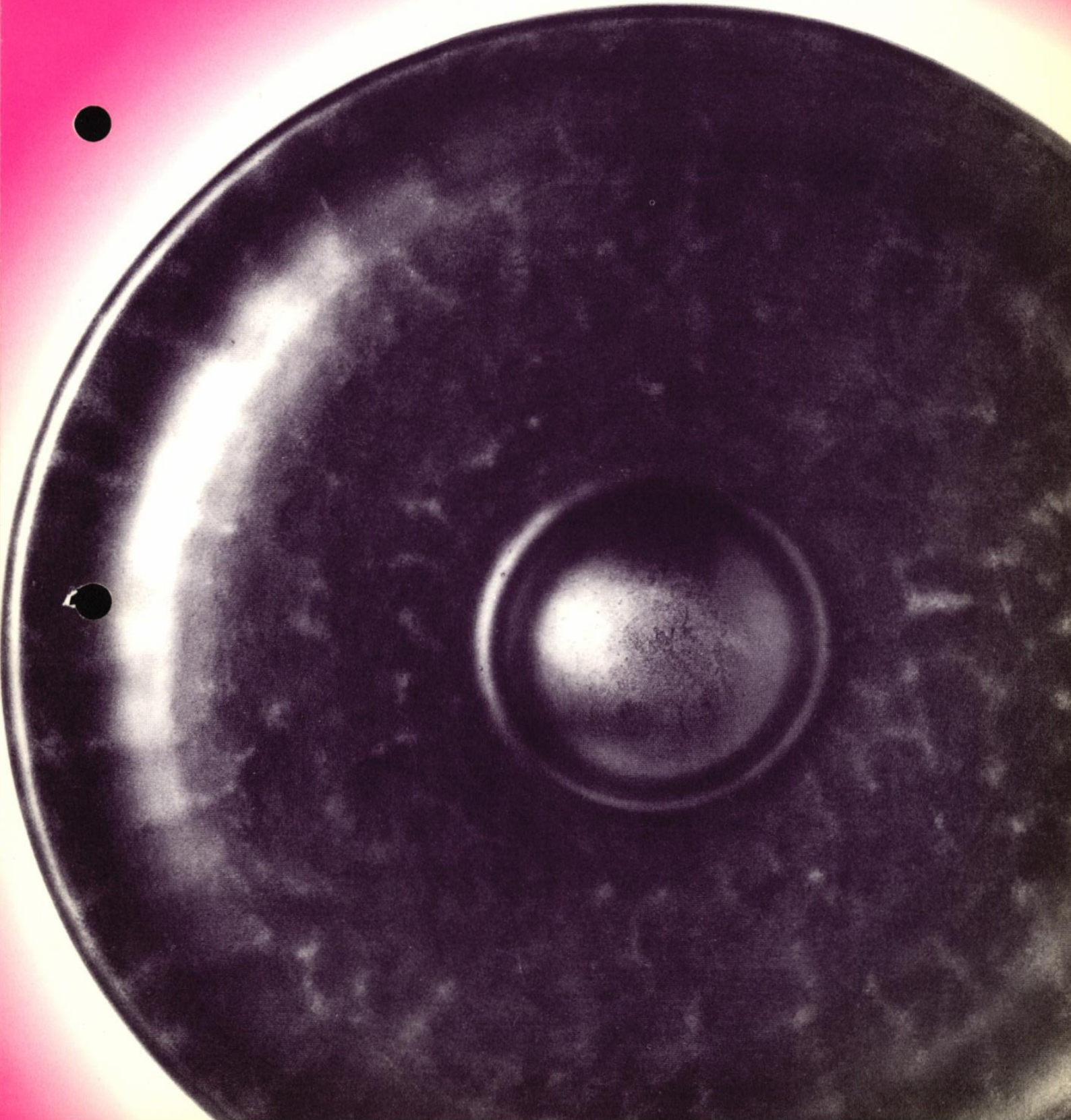
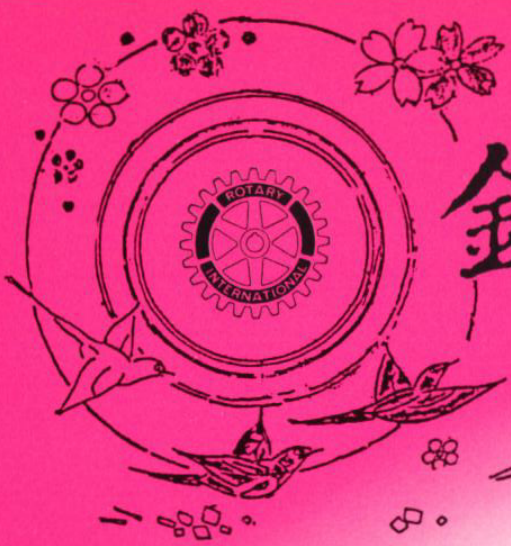


ROTARY CLUB OF **KANAZAWA-NORTH**

1996年2月8日 第552号

金澤北ロータリークラブ



正義を手に入れる方法

中村三次

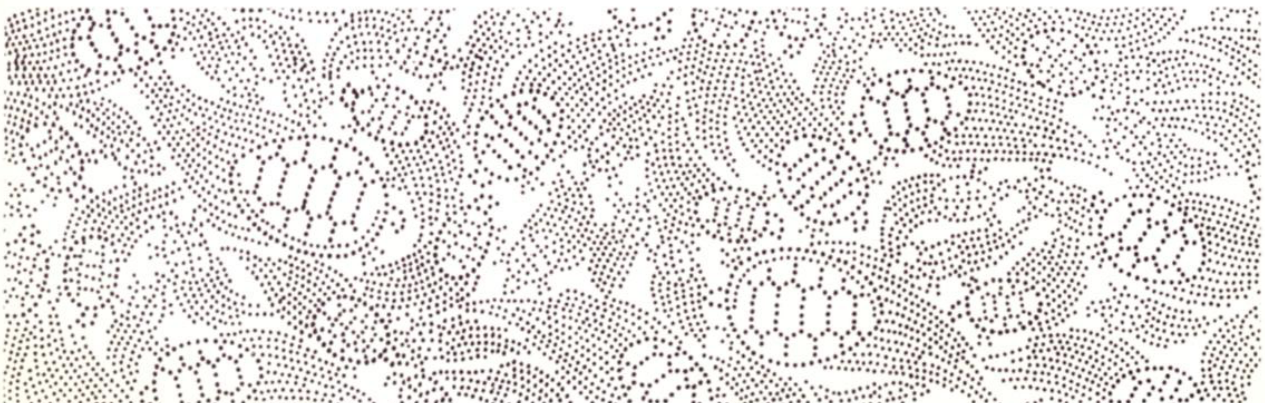


先年、アメリカ南部の町で、交換留学生が、仮装パーティ会場を間違えて近づいた家の主人に射殺されました。この事件の刑事裁判では陪審員が全員一致で犯人の正当防衛を認めて無罪としました。一方、留学生の両親が起した民事裁判では犯人の正当防衛を認めず、その両親に賠償金の支払を命じました。正義と真実が刑事と民事で正反対となりました。

国際社会においては夫々の国家や民族が夫々異なる正義を唱えており、中でも民族間の正義の衝突、宗教間の正義の衝突は、未来永劫解決されないものと思います。中国とフランスは、世界の世論を敵にまわし核実験を強行しました。フランスにはフランスの正義があり、中国には中国の正義があり、反対論者には反対論者の正義があります。このように、時と場所人によって、正義とか真実は異なる場合があります。古来より現在までこれが正義だ、真実だ、これこそ正義だ、真実だと正義や真実は数限りなく唱えられて来ました。極端に言えば正義は星の数程あります。

ところで、正義とか真実というものは客観的に存在し、それが裁判官によって発見されるものだと考えると、裁判に弁護士が不用となります。ところが、現実社会における正義や真実は一つではなく複数あり得る訳であり、弁護士は具体的事件の解決の場において、その依頼者にとって正義は何か、真実は何かについて、その職業的倫理観に立脚して裁判所に材料提供し、かつ討論と説得により、事件毎に具体的妥当性のある正義や真実を得るのが役目であり、結局正義と言っても、真実と言っても、それは裁判によって創造されるものであり、この創造が誤りなく行われる業務を担当するのが弁護士であります。

留学生の両親は、弁護士に依頼して民事裁判により自らの正義を手に入れ得ました。しかし、この事件の被告は、刑事裁判については、弁護人により正当防衛を主張し、無罪を勝ちとり正義を手に入れました。一つの事件について相反する二つの正義が裁判によって認められました。このことは、刑事事件の弁護士も、その職責を尽くし正義を実現したものであり、民事事件の弁護士もその職責を尽くし正義を実現したものです。即ち刑事裁判における正義と民事裁判における正義は異なること、換言すれば次元が異なれば正義の意味も異なり、具体的事件における正義は裁判所が創造するものであり、裁判所が誤りなく正しい正義を創造するように、依頼者の立場に立って活動するのが弁護士の役目です。



「親子亀文様」 坂口幸市会員作

私とロータリー

田中 廣 高



思いもかけぬ入会へのお誘いをいただき、私にとりましてはまさしく、青天のへきれきでした。“奉仕の精神？”わからぬままに自問自答を繰り返し、私ごとき志しなかばの者が、末席をけがすのではとの思いが強く、入会への返答には、大変苦慮した次第です。

それは、私自身のことよりも、推薦して下された方々に、私のロータリーに対する認識不足から大変な迷惑を掛けるのではないかと、誠に気掛かりだったからです。そんな不安を取り除いてくださったのが、入会に際して、修練委員長の話された言葉でした。

「あなたの入会を、メンバー一同心待ちにしておりました。」

「肩書きや年齢・職業抜きで、こころの友として……」

「今日からいっぺんに、北ロータリークラブ80数名の、又2610地区では約3,200名の友達ができ、あなたにとってこんなに素晴らしいことはありません。」

その他多くの思いやりに満ちたお話しをいただき、大変感激した次第です。

今日まで「我以外皆師」の思いで、多くの素晴らしい人達に出会い、その人達のお陰で気付かせていただき、学ぶこともでき無事に曲がることなく歩んでこれた、そしてこのたびさらに多くの良きロータリアンに出会えたことに、ただただ感謝“おかげさま”の一言です。振り返れば今まで、今日一日の約束事を果たすことに、毎日夢中になっていたと思います。そのような私に“おまえもそろそろ人様に少しは役立つように…”との機会を与えて下さったのだと思います。

くしくも、戦後50年の節目の年に、入会できましたことも、生きて引揚てこれた私にはなぜか不思議な巡り合わせを感じます。

戦後の経済的繁栄を築き上げるうえで“消費は美德なり”の言葉に酔い、理想や高潔さより、実利を追い求める傾向を強めてしまった結果、“大自然との調和”の精神を忘れた思い上がり、人心の乱れや、地球全体の乱開発を促し、昨今の異常気象は、天災とただけでは扱えられない、人災の要素が大きいと思われまます。今の時代だけがバラ色の時代であって良いはずもなく、先憂後楽の精神を持って物的金銭的価値の奴隷となることなく、豊さの中に真実や高い価値を求め、精神的献身的対象を求めながら、ロータリー精神を極めていきたいと思ひます。

～ お知らせ ～

1995-96年度 IM (都市連合会)

日 時 平成8年2月12日(祝)
 午前9時 受付開始
 午前9時40分 開会点鐘
 午後3時30分 閉会点鐘予定
 会 場 小松市民センター
 義 務 者 理事・役員・委員長・入会2年未満
 の新会員

穴水ロータリークラブ認証状伝達式

日 時 平成8年5月12日(日)
 場 所 (認証状伝達式会場)
 のとふれあい文化センター
 (祝宴会場)
 ポリテクカレッジ石川
 登録受付 12:30～13:30
 認証状伝達式 13:30～15:00
 祝 宴 16:00～17:30
 登 録 料 会員15,000円 ご家族12,000円
 申込期日 平成8年3月20日(木)

